

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、長期ビジョン「UBE Vision 2030 Transformation」で描いた目指す姿の実現に向け、直近3か年のアクションプランとして中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation～1st Stage～」(対象期間: 2022年度～2024年度)を策定し、以下の基本方針および数値目標を掲げております。

◆2030年の目指す姿

「地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献するスペシャリティ化学を中核とする企業グループ」

目指す姿の実現に向け、「エネルギー負荷の低い」、「市況変動に左右されにくい」、「収益性の高い」スペシャリティ製品を主体とする事業構造への転換を進めてまいります。また、こうした事業構造改革と省エネ推進・プロセス改善等の施策により、GHG排出量の削減目標の達成を目指すとともに、環境に貢献する製品や技術の開発と実用化を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

◆中期経営計画の基本方針

- i) スペシャリティ化学を中心としてグローバルに利益成長を追求
- ii) 地球環境問題に対応した事業構造改革
- iii) 持続的成長に向けた人的資本の充実
- iv) DXの推進による企業価値の向上と顧客価値の創出
- v) ガバナンスの更なる向上

◆中期経営計画の数値目標 (2024年度)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| i) 主要項目 | ii) 経営指標 |
| ①営業利益: 400億円
(うち、スペシャリティ事業: 240億円) | ①売上高営業利益率 (ROS): 8% |
| ②経常利益: 470億円 | ②自己資本利益率 (ROE) : 8% |
- (注) UBE三菱セメントグループからの持分法投資損益は、同社グループ発足前に想定した暫定値80億円としています。

(2) 対処すべき課題

当期の業績は、ナイロンポリマー・カプロラクタムおよびセメント関連事業において需要低迷や原燃料価格上昇の影響を受けて最終損失となりましたが、中期経営計画の基本方針のもと、スペシャリティ化と地球環境問題への取り組みを強く意識した事業構造改革を進め、業績の回復と収益基盤の強化を図ってまいります。さらに、当社グループの有する技術力やバリューチェーンにおける強みを活かして高付加価値と高収益性を実現できるスペシャリティ事業に重点的に経営資源を投入し、将来の更なる成長を推進してまいります。

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを人的資本充実の最重要課題と位置づけ、ワークエンゲージメントの向上とともに挑戦する社風の醸成に取り組み、またDXを推進することで業務の効率化や新たな顧客価値の創出を加速してまいります。

化学事業持株会社として新たなスタートを切った当社は、スペシャリティ化学の企業グループとしてグローバルに持続的成長を図るとともに、機械事業やセメント関連事業については持株会社としての経営を推進し、グループとしての企業価値の最大化を図ってまいります。